

No 168
2014.3

ひろお

議会だより



長崎県西海市親善交流少年団来町（フンベの滝にて 2月1日）

C contents

一般質問（4人が登壇）	2
予算審査特別委員会	8
決算審査特別委員会	9
常任委員会（所管事務調査の経過と結果）	12

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

平成25年 第4回定例会

(平成25年12月 6 日～11日)



今定例会では、平成24年度決算10件、各会計補正予算などについて審議。一般質問には4名の議員が登壇し、町に考えを聞きました。また、常任委員会では先進地の福祉行政と港湾施設の現状を行政視察しました。(P. 12～をご覧ください)

質問 静岡県が県内で行った認知症介護家族者の意見交換会で「認知症の人の介護は、外見では介護していることが分かりにくく、誤解や偏見を持たれるケースが多い」という介護者の意見を基に、介護中であることを示す介護マークを希望者に配布する取り組みを開始、好事例として全国に広がっている。本町も介護事業所や家族、親族、ボランティアの方などが、ちゅうちよなく介護できる環境つくりのため、介護マークを導入する考えはないか。

答弁 村瀬町長 介護マークは、首からかけられる「介護中」と表示したケース入りのカードで、静岡県が考案したものである。静岡県の介護マークの取り組みは、厚生労働省から全国の市町村に周知され、介護マークに取り組みむ市町村が増えている。十勝管内でも、音更町など3町が導入し、高齢者や障害者を介護している希望者に配布している。本町においても、平成26年度から介護マークの導入を実施したい。

介護マーク (静岡県のホームページより)



請願とは？

町民が国や地方公共団体に一定の希望をのべることです。町議会には、地方自治124条の規定により議員の紹介で請願書を提出することとされています。

志村國昭 議員

介護マーク導入の考えは

町長 平成26年度から導入したい

ズバリ
町政を問う

一般質問

志村國昭 議員

臨時、パート職員の待遇改善と正職員の採用計画について

町長 住民サービスに影響がでないよう進める

質問

職員の削減で臨時、パート職員が増加している。職員と同じ働き方をするこれらの方の待遇改善と更に優秀な方は、準職員、正職員へ昇格の門扉を開けるべき。また、削減の影響は、職員に荷重労働を強いるばかりでなく、人事異動も四苦八苦の状況がうかがわれる。一度に多くの退職者が発生する年度もあり、住民サービスの遅延を懸念する。

時勢にかなった体制づくりのため削減計画の見直しと採用計画に職員の意見を聴取することも必要と思うが。

答弁

村瀬町長

本町における正職員数は、自主自立推進プランを基に退職に伴う補充を必要最小限に抑制している。

臨時職員の賃金水準は管内平均を上回っており、有給休暇付与条件の緩和及び忌引き休暇の創設、並びに病気休暇の付与、夏季休暇日数の充実を図っている。

今後、住民サービスに影響がでないよう採用計画、人員配置を進め、自主自立推進プランの見直しについては、計画の期間終了後に、策定の検討に入る予定。

おだ 小田雅二 議員

職員研修のあり方について

町長 基礎的な研修強化を図る

質問

職員の資質や事務処理能力の向上を目的とし研修に派遣しているが、職種限定の専門的な研修は別として町参加の物産展や姉妹都市との交流や引率、中高生の海外研修等については関連するセクションからの派遣のみならず、できるだけ異なる部署からも派遣することで様々な体験をしてもらい、異業種交流的な「目からウロコのな」効果を期待できると思う。

職員が良い刺激を受け意欲となり成長していく事は、イコール町の発展にも繋がると思うが。

答弁

村瀬町長

職員数の状況、また、今後の大幅な世代交代を考えると基礎的な研修への参加も困難な状況が見込まれる。

今後、数年間は一般職・専門職の区別なく、自治体職員としての資質向上や事務処理能力の向上といった基礎的な研修を強化していくことを第一に考えている。

イベント参加への担当者以外の職員派遣については、調整の中で対応したい。

研修派遣事業の引率等については、児童生徒の安全確保等が第一で、教職員、英語指導助手等の引率が望ましい。



おだ 小田雅二 議員

新イメージキャラクター「さーたちちゃん」について

町長

要綱を整備し、商標権の取得等を検討する。

質問

町の新しいイメージキャラクター「さーたちちゃん」が今後いろんな場面で利用され、サンタランド事業に一定の効果をもたらしていく事が期待されているが、商標登録等の法的整備に対す

る考えについては。

また、現在サンタメール事業に使用されている永田萌さんの絵に出てくるサンタさん達とのマッチングについてはどのように考えていくべきなのか教えてほしい。

答弁

村瀬町長

サンタメール等を利用して永田萌さんのデザインは、その年その年のサンタメールのためだけに書き下ろしたもので「さーたちちゃん」とのマッチングは難しい。

また、商標権などの法的整備については、ゆるキャラブームにより使用方法のトラブルもあることから、町民が親しみをもって、自由に使えるよう、キャラクターの使用や着ぐるみを使った場合の貸し出しについて、要綱などを整備するとともに、商標権の取得について検討する。

新イメージキャラクター「さーたちちゃん」



おだ 小田雅二 議員

広尾町食育推進計画について

町長 “食で元気”なまちづくりをめざす

質問

広尾町食育推進計画の趣旨や目標は大変重要であり、積極的に進められていくべきと理解する。

農水産物の生産者である広尾町として、どの点を重要項目とするのか。また、フードバレー十勝としてオール十勝での地産地消も視野に入れた計画も必要で、しいては十勝町村会での検討も必要となるのではと思うが。

また、漁業の町としての推進という点から付帯的行事として例えば、「さかなくん」を招致してのイベント等の検討も必要ではないか

答弁

村瀬町長

食育推進計画は、「地産地消で豊かな食育の推進」を掲げており、本町で生産された安全で安心な水産物、農産物、酪農製品等の販売促進を地元に着させ、更には全道、全国に広く発信していきたいと考えている。食育講演会の開催など行政と家庭、学校、地域、関係機関などが連携して町全体で『食で元気』なまちづくりをめざしていきたい。

前崎 茂 議員

消費税増税に伴う行政コストの増加について

町長 一般財源の総額確保について要請している

質問

政府は、来年4月から消費税を5%から8%に増税する方針を表明した。年金削減など給付減と社会保障の負担増、8兆円の増税を合わせた10兆円の空前の負担増になる。消費税増税に伴い安易に公共料金に転嫁せず、住民生活への影響を避けるべきでは。また、増税に伴う行政コストの増加の試算額は、10年間で労働者の平均年収が70万円減少する中、政府に増税中止を求めるべきではないか。

答弁

村瀬町長

消費税率の引上げによる歳出の影響額は、平成25年度当初予算ベースでの試算で、約8000万円から9000万円の歳出の増加が見込まれる。

この増税が結果的に、国の財政補てんになり、地方財源の減少や住民サービスの低下に繋がらないように、北海道町村会の要望事項として平成26年度における地方財政計画の策定、税制改正にあたって、安定的な財政運営に必要となる地方交付税等の一般財源の総額を確実に確保することを要請している。

前崎 茂 議員

町職員再任用の実態について

町長 運用について検討を進めている

質問

平成25年度以降、公的年金の基礎年金部分に加えて報酬比例部分も段階的に65歳まで引き上げられることになり、無収入期間が生ずる。

このため政府は、年金の支給開始年齢に達するまで希望する職員を再任用するものと自治体に通知している。

本町の本年度退職者数と再任用予定者は何名となっているか。また、意向調査はどのように実施したのか。

答弁

村瀬町長

本町において、平成12年度に「広尾町職員の再任用に関する条例」を制定しているが、任用実績はない。

国においては、無収入期間が発生しないよう、再任用を希望する職員は、原則再任用するものと本年3月に閣議決定をした。地方公務員においては、「地方の実情に応じて必要な措置」を講ずるよう国は要請している。

本町の本年度の定年退職者は7名であり、種々の課題を整理し、運用について検討を進めている。

庁舎で議会の
審議等を放映

本会議中の議場の模様は庁舎1階ロビーのテレビでもご覧いただけます。



前崎 茂 議員

公営住宅オール電化の見直しについて

町長

改修の考えはないが、
詳細な説明を実施する。

質問

北電は本年9月から、電気料金を平均7・7%の値上げを実施したが、オール電化住宅は16・8%と大幅値上げとなっている。

こぶしが丘公営住宅の二棟はオール電化仕様となっており、新錦町公住のように入居者が自由に選択できるように改善すべきと思うが。

また、使用していない蓄熱暖房機にもリース料を収めているが、解約手続きをきちんと入居者に説明すべきではないか。

答弁

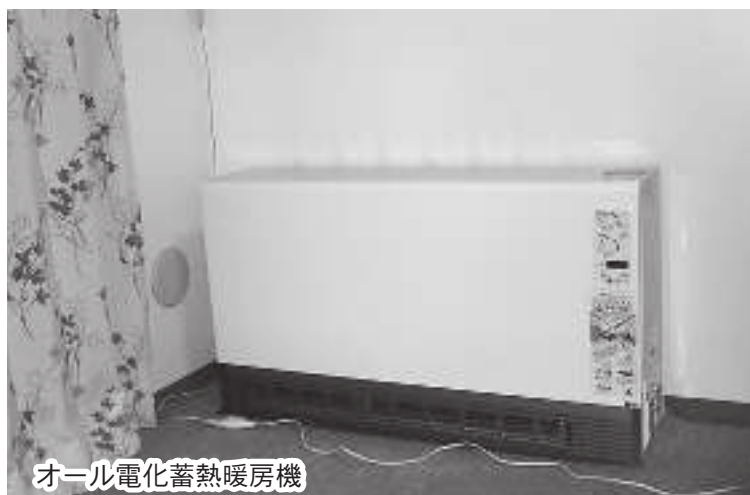
村瀬町長

こぶしが丘団地の1号棟から3号棟については、当初入居者の選択方式、4号棟・5号棟はオール電化方式で整備

した。

電力料金の値上げにより入居者の負担は増加することになるが、入居者が選択・希望しての入居であるため、改修の考えはないが、将来的には住民の意見も聞きながら総合的に判断する。

入居に対しての説明については、北電からのチラシを配付したが、更に個別訪問を行い詳細な説明を実施する



オール電化蓄熱暖房機

旗手恵子 議員

後期高齢者医療の来季保険料見直しについて

町長 国・道に財源措置・財政支援を求める

質問

道後期高齢者医療広域連合議会では、「これからまだ数字が変わる」と前置きし、来年度からの新保険料が現行を11・05%上回る7万4675円となることわかった。

国・道に対し、財政安定化基金の積み増しを求め、現行保険料の引き上げ抑制と財政支援を要請すべきではないか。

厚労省が示す保険料軽減の特例措置廃止を許さない取り組みをすべきではないか。

高齢者は収入減と負担増で苦しんでいる。特例措置が廃止された時の影響は。

答弁

村瀬町長

町では国・道に財源措置、財政支援を求めている。

特例措置が廃止された時の影響は、本町において対象は157名で、このうち大きく影響を受ける方は59名程度で影響額は、約120万円と思われる。

広域連合はじめ国に対して高齢者の医療環境の改善などを要望していく。

旗手恵子 議員

学校給食費に町費の助成を 求める考えは

教育長 引き続き検討する

質問

学校給食費の改定（案）が示されたが、引き上げによる負担増となる総額はいくらか。

十勝管内をみると町費補助をしている自治体もある。本町としても引上げ分はすべて保護者負担ではなく町費補助を求めるべきではないか。

帯広市は条例で給食費の額を定めているが、本町は学校給食センター設置条例施行規則のなかに、給食費の額は「平均所要栄養量の基準の範囲内において教員委員会が決定する」のみで額の定めはない。見直すべきでないか。

答弁

笹原教育長

学校給食費負担金の負担増は、436万円となる見込み。本町では、「学校給食法」に基づく区分により、施設の整備費、調理員の人件費、光熱水費等に係る経費は町費の負担としている。現状では町費による更なる負担は困難と考えている。

旗手恵子 議員

質問

丸山保育所、広尾保育所を統合する新しい保育所の基本設計が示された。施設が新しくなる事にとともに、名称を「保育所」から「保育園」にしてはどうかの声がある。

丸山・広尾保育所とも長い歴史があり、呼び慣れた名称で愛着を感じている方も多いと思うが、管内を調べてみると、中札内保育所は新築して「中札内きらきら保育園」とした。「保育園」が増えているように思うが、名称はどのように決定しようとしているのか。

答弁

村瀬町長

広尾市街地の保育所施設については、広尾保育所と丸山保育所を統合した新たな

保育所の名称について

町長 広く町民から公募する

な保育所施設の建設に向けて、設計作業を進めている。

この統合保育所は現在の保育所とは異なる場所に新たに建設を予定しているもので、新たな名称としたい。

保育所の名称については「保育所」という言葉にこだわらず、親しまれる名称にしたく、広く町民から公募をし、関係者による保育所統合建設検討委員会等の意見を基に選考したい。



子育て支援センター「豆まき」（健康管理センター 1月29日）

予算審査特別委員会

委員長 おだ 小田雅二・副委員長 旗手恵子

平成25年度 補正予算

平成25年度一般会計ほか8会計の補正予算案9件を12月6日に設置された予算審査特別委員会に付託。11日に再開された同委員会では審査を行い、全会計を原案のとおり可決すべきと決定しました。

●一般会計（歳出）

問 乳幼児等医療費の減額要因と内訳別の見込みについて。

答 例年と比べ大幅な減額が生じ、今後も増額の要因がない。未就学が395万2000円の減額、小学生が249万7000円の減額となっている。

問 北海道環境・生態系保全対策協議会負担金について国費対応となったが、町との関わりと今後の事業継続は。

答 制度の改正により国の全額負担となった。昆布の岩盤清掃が主な事業で、町は書類の進達、指導、助言等の関与。事業は3年程度とされている。

問 予防接種委託料（任意インフルエンザ予防接種）が12月提案と遅くなった理由は。

答 予防接種は10月から12月に行うのが望ましい、12月ぎりぎりとなったが、この時期を逃すと1年遅れてしまうため12月の提案となった。

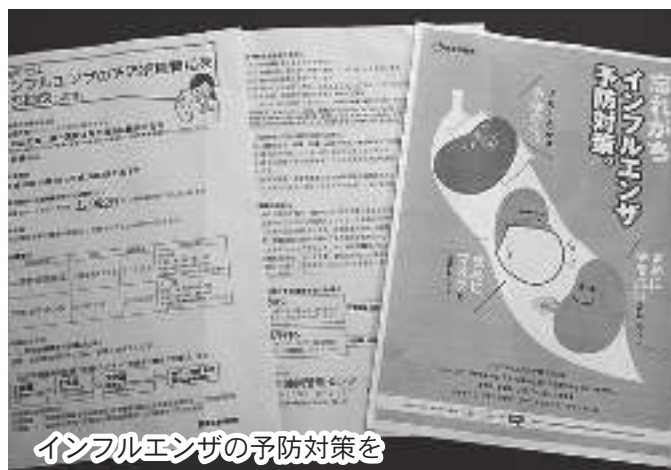
問 避難階段用地購入に係る土地の面積は。

答 所有者は財務省で手続きを進めてきたが、時間を要した。財務省で土地の鑑定評価実施のうえ計上したが、面積は1305.46㎡。

平成25年 補正予算の内訳

一般会計 80億4,350万円	↑ 1億7,309万円増
簡易水道事業特別会計 6,923万円	↓ 34万円減
下水道事業特別会計 4億7,293万円	↓ 63万円減
国保事業勘定特別会計 12億6,222万円	↑ 5,848万円増
介護保険特別会計 6億7,716万円	↓ 26万円減
介護サービス事業特別会計 2億6,539万円	↑ 27万円増
後期高齢者医療特別会計 9,724万円	↑ 354万円増
国保病院事業会計 収益的収入・支出 8億3,711万円	↓ 1,423万円減
資本的収入・支出 1億1,686万円	↓ 297万円減
水道事業会計 収益的支出 1億1,567万円	↓ 15万円減
資本的支出 1億1,013万円	↓ 141万円減

(万円未満切り捨て)



インフルエンザの予防対策を

問 林業費の造林保育（除間伐）（※）事業の内容と減額の理由について。

答 間伐で約69ha、2173万5000円、除伐で約4ha、166万6000円。年間50〜60ha実施。間伐で通常の作業道で対応できない約15haを除いて発注したため減額となった。

●一般会計（歳入）

問 委託牛放牧負担金が減額されているが、今後の見通しは。

答 1日550頭、160日間で予算計上したが、4〜5月の天候不順で牧草の生育が遅れ、入牧を8日間程延期した。農協と協議し、現在の予算ベースで入牧頭数を維持したい。

(※) 造林保育とは下草刈りや除間伐等を行い、森林の健全育成を行うことをいいます。



決算審査特別委員会

委員長 旗手恵子・副委員長 前崎 茂

平成24年度 決算

決算審査特別委員会は、10月23～25日の3日間開会され、付託された一般会計、特別会計7件、企業会計2件、合わせて10件の決算認定（※）について、審査の結果、認定すべきものと決定しました。

12月6日の本会議で同委員会報告が行われ、全会計の決算を認定しました。

一般会計（歳出）

総務費

問 職員減に係る健康への因果関係は。

答 確認はしていないが、人間ドック、定期健康診断、メンタルヘルスへの取り組み等健康管理に充分配慮している。

問 財政状況の厳しい根拠は。

答 平成17年度に緊急財政対策本部を立ち上げ港湾関連事業債の借換えを行った。今後返済を行うため、良い財政状況ではない。

問 職員研修での情報を職員間で共有しているか。

答 職員個人で研修内容を吸収し、資質向上を図る。共有化について今後検討する。

問 高規格幹線道路帯広広尾間の要望内容は。

答 国会議員、国の機関への要望、独自で3回の中央要請を行った。

問 防災会議委員の地域の方々の任命について。

答 条例改正、人選等が必要で検討したい。

問 旧並木共同住宅跡地の面積と金額は。

答 面積は1万3912・87㎡で11筆。売却に向け実勢

価格等の条件を検討する。

民生費

問 住宅用火災警報器購入助成件数が3件と少ないが、PRが必要では。

答 関係機関、高齢者への訪問サービス時の周知、町内会総会時に資料の配布、老人クラブへ出向いての周知徹底を図る。

問 公衆浴場に係る高齢者の2日間の無料開放での人数は。無料開放期間の延長の検討内容は。

答 9月15、16日で105名。平成19年度から行政改革で有料化となったもので、維持管理、利便性等で2日間とした。

問 障害者自立支援医療給付事業で平成24年3月～25年2月とあるが、会計年度は。

答 年度内精算の関係の整理での請求。

問 高齢者居室整備貸付金で24年度は貸付が無かったが、実態は。

答 23、24年度は貸付が無

かったが、高齢者と同居者に有利な制度で今後とも継続する。

衛生費

問 雑誌を燃えるごみとして収集しているのは管内で何町村か。

答 本町、大樹町、幕別町の忠類地区、他の町村は資源ごみ。

問 脳ドック、20名分の不用額があるが、要因は。

答 22、23年度受診者は対象外のためか、新規の受診者の掘り起しが必要。

農林水産業費

問 農村環境改善センターにある調理施設を女性部3団体で使用しているが、狭いので広くないか。

答 長期計画のなかで取り組む。

問 平成22、23、24年度の工ゾシカの農林業被害額は。

答 22年度7115万円、23年度1億4792万2000円、24年度1億6740万7000円。



問 林道の除雪でエゾシカ駆除の効果が上がったが、今年も除雪の協議がされているか。

答 今年も町有林道、国有林道の除雪について協議して進めたい。

問 暗きよ整備について広尾町ではなぜ取り組まないのか。

答 農家の要望がなかった。再度制度があれば希望を採りたい。

商工費

問 祭りの実施について、事務、業務の状況は。

答 限られた人員のなかで最大限の効果を求めている。

問 中小企業金融対策事業の管内状況は。

答 預託金行っていないのが4町、行っているのが1市14町村。

問 観光宣伝事業での法被、パンフレット、名刺の活用内容は。

答 法被は東京みなと祭、風土&FOD、西海市大鍋まつりでの着用。パンフレット

は24年度8000冊配付、名刺については八角親方、志村亜希子氏、HBCの水野善公氏など他20名程度作成。

問 観光案内施設管理委託料の当初予算との差額の流れは。

答 北方圏交流振興会でのサングッズの利益相当分を観光協会へ戻し入れし、観光協会からその分を広尾町に返し入れをした結果。

問 ホテル繁殖試験業務に係る24年度の成果と実態について。

答 24年度は300匹放出し、自然発生を確認。子供たち30人程で観賞会実施。

問 イルミネーション購入業務は、決算書のどこに記載されているか。

答 サンタランド費の需用費の消耗品費の一部。

土木費

問 除雪出動の判断は。

答 午前0時にパトロールを行って判断し、早朝2時に出動している。

(※) 決算認定とは
議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することをいいます。



問 橋りよう長寿命化修繕の今後の修繕計画と町民への周知方法は。

答 10年間で10橋、1億4000万円程度で、周知はホームページで行う。



橋りよう長寿命化修繕 (音調津大橋)

教育費

問 キッズ英会話の登録児童数が減っているが、理由は。

答 24年度から小学校1年生から3年生までは特別英語授業が実施されているため、対象から外した。

問 教職員の健康診断の受診率は。また臨時職員も含まれているか。

答 受診率は94・32%で期限付き教職員も含む。



キッズ英会話のハロウィン仮装行列

問 外国語指導委託業務について委託業務の他に事業を取り組んでは。

答 24年度より委託業務となり中学校の指導が多いが、小学校5、6年生でも指導しており、時間をみながら、子供たちと触れ合いを図りたい。

問 児童福祉会館が図書館開設事業の拠点となっている。建設から40年以上経過しているが建て替えは。

答 第5次まちづくり推進総合計画での建設が望ましいが、震災以降の耐震化を含め優先順序を図る必要がある。

●一般会計(歳入)

問 不納欠損額1件での最高額は。

答 法人で固定資産税725万108円、都市計画税108万1000円。合計833万1108円。

問 けい留施設使用料の伸び要因は。

答 飼料コンビナートの順調な稼働により飼料の生産が増え想定より大きな船舶が入港した。また取扱数量の増加によりけい留時間が伸び使用料が増となった。

問 滞納処分状況、主な件数と金額は。

答 預金差押え67件、生命保険12件、給与1件、国税還付金46件、計126件、金額569万3370円。

討論

★反対討論 前崎 茂委員

行政サービス制限条例を施行しなくても十分収納率の向上は図れるものである。

滞納整理機構は、きめ細かな納税相談体制とは認めがたく、町が納税相談をしながら、収納率向上を図るべきである。政治家の記念館の運営は、町がやるべきではなく、民間で運営すべきものであり、決算認定に反対する。

★賛成討論

小田 英勝委員

限られた財源の中で産業振興、町民が安心して暮らせる事業に努めている。

財政運営全般に健全化への努力が認められる。効率的で効果的な予算編成に取り組む、住民サービスと要望に答えられる行政執行に期待し、決算認定に賛成する。

国保事業特別会計

問 保険証の1箇月、3箇月の短期証について事務の効率化をどの様に検討したか。

答 役場内の審査会で判断している。個人面談、家庭の事情等を勘案して対応している。

介護保険特別会計

問 介護サービスの時間短縮による影響は。

答 介護サービスの時間が充分ではないとの意見、要望があるので、サービスの拡大、負担の軽減を国に要望する。

討論

★反対討論 前崎 茂委員

国は介護サービスの削減と負担増を打ち出している。

また、介護施設や医療機関の利用制限を強めようとしており、年金が引き下げられる中での保険料の引き上げは高齢者にとって耐えがたい負担であり、決算認定に反対する。

★賛成討論 小田 英勝委員

居宅介護サービスは伸びており、施設サービスから居宅サービスへのあらわれである。介護サービスを利用している高齢者の多くが低所得者であり、介護保険の円滑な運営と高齢者福祉の増進について努力が認められる決算認定に賛成する。

介護サービス特別会計

問 入所者待機状況について、待機中の死亡者、介護度、入所者の介護度は。

答 待機者73名中、在宅15名、病院32名、老人福祉施設26名、待機中の死亡者21名、待機者の介護度1が12名、2が9名、3が14名、4が16名、5が22名、入所者の介護度1が2名、2が2名、3が5名、4が9名、5が32名。

後期高齢者特別会計

問 保険料の賦課徴収で特別徴収から普通徴収を希望した方、変更した方の状況は。

答 特別徴収から普通徴収へ変更した方は19名。

討論

★反対討論 前崎 茂委員

保険料は、一人当たり全国8位と重い負担となっている。年齢で差別する医療はあつてはならない制度で、後期高齢者医療制度が続く限り矛盾は解決されない。よって決算認定に反対する。

★賛成討論 志村 國昭委員

この制度は、高齢者に対する医療、介護サービスの質を維持、向上させることを目的として開始された。現在は、制度が定着しており、高齢者が医療を受けるには必要な制度である。広域連合の加入町として、必要な経費であり、決算認定に賛成する。

国保病院特別会計

問 平成22、23、24年度の給食材料の地元発注率は。

答 22年度71・9%、23年度68・3%、24年度64・9%。



次のページは
「見た！聞いた！考えた」

考えた!

の現状



東神楽町の福祉行政を調査（挨拶は東神楽町長）

総務常任委員会

所管事務調査の経過と結果

委員長 小田^{こた} 英勝・副委員長 浜頭 勝

先進地における福祉行政について

東神楽町の福祉行政

調査日 平成25年10月15日

様々なサービスを行っている東神楽町の福祉行政について調査を行った。

1. 健康ふくし課の業務

健康ふくし課は、平成24年度までくらしの窓口課と一体で住民福祉課であったが、一つの課としては業務が非常に多岐にわたることから、二つの課に分け隔々まで対応可能な体制とした。

ふくしグループでは、生活保護、高齢者・障がい者及び精神保健福祉、国民健康保険事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業、医療費助

成事業、保護司、人権擁護などに

関する業務、健康グループでは、健康相談、母子保健

対策、栄養指導、生活習慣病の予防及び指導、食品衛生

に関する業務を行っており、ふくし課の予算は総額で約

8億9862万円である。また、特に新たな事業としては、

平成24年10月から中学生までのこどもに対する保険適用医療費の全額助成を実施している。

2. こども未来課の業務

こども未来課は、子育て支援事業や子育て支援センター

の管理運営、保育園の管理運営、こども発達支援センター

の管理運営、児童クラブの運営に関する業務を行っており、

こども未来課の予算は総額で約4億5300万円である。

なお、こども未来課は、条例上は町長部局であるが、こどもに関することなので、教育委員会と特に連携を図っているとのことであった。

成年後見人制度

調査日 平成25年10月16日

小樽・北しりべし成年後見センターの成年後見業務について調査を行った。



成年後見人制度を調査（小樽市）

1. 設立の動機と経過

少子高齢化と若者の流出、家族や町内会の絆の希薄化により、小樽市と北しりべし6市町村の高齢化率も33・01%と全国24%に対してかなり高く、また、高齢認知者の増加により、判断能力の低下している人々の権利を守る必要があったが、弁護士などの法律専門職の後見ニーズ許容量に限りがあり、今後支えきれなくなると予想されたことから、新しい取り組みが必要となり、広域による小樽・北しりべし成年後見センターを設立した。

2. 予算と人員体制と実績

平成25年度の事業費は約2600万円であり、収入の内81%約2080万円が6市町村からの負担金収入であり、残りが事業収入である後見報酬となっている。支出では職員6名の人件費が約2060万円であり、6市町村からの負担金収入で人件費を賄っている状況である。相談件数は平成24年度で336件となっている。

3. 市民後見人制度及び課題

成年後見センターの業務をサポートする市民後見人の養成も行っているが、法律や福

見た！
聞いた！

先進地



産業常任委員会

所管事務調査の経過と結果

委員長 佐藤 春一・副委員長 北藤 利通

先進地における港湾施設の現況について

調査日 平成25年10月1日

1. 苫小牧港国際 コンテナターミナル

苫小牧港の国際コンテナターミナルの現況について調査を行った。

・苫小牧港国際コンテナターミナルの現況

苫小牧港は、北日本最大の規模と取扱量を誇り、世界各

社の専門職でないため、現在は、身上監護、定期訪問などの最低限の業務分担にとどまっている。また、最初から個人受任できる市民後見人の

配置を目指すのか、法人後見の中の後見業務履行補助者を育成するのか、補助者を育て将来的に個人受任できる市民後見人の実現をはかるのかな

ど、市民後見人にどの程度の役割を担わせるかなどの課題も多い。なお、広尾町で実施する場合は、地域包括支援センターなどを活用し、法律の

専門家と契約した上で行うのが現実的であり、負担の多い市民後見人制度は勧めないとのことであった。

港と結ぶ北海道の玄関口としての重責を担っており、拡大する外貿コンテナの取扱量、運航船舶の大型化に対応するため、平成20年8月に西港地区から東港地区に全面移転し、本格的な国際コンテナ物流基地として供用開始した。ターミナル事業運営は、PIF方式の先駆けとして、岸壁、ガントリークレーン、コンテナヤードの表面設備を官が整備し、その他の地上設備は民が整備した。また、ターミナル

運営は平成9年4月、苫小牧市にある港湾運送事業免許を有する5社が苫小牧港外貿コンテナ事業協同組合を設立し、100%民間で立ち上げた。施設の概要は、岸壁が水深14m、12m各1バース、コンテナヤード総面積21万9000㎡、ガントリークレーン3基、トランスファークレーン5基である。平成23年取扱実績は、20フィートコンテナ換算で21万4885個であり、北海道全体の78%を占めている。

どの林産品113万トンが主なものである。外貿定期コンテナについては、週3便の韓国航路が運航しており、平成24年取扱実績は、20フィートコンテナ換算で約4万個となっている。コンテナ取扱岸壁は、水深10mでありガントリークレーン1基が設置されている。係留施設全体では、公共14バース、専用7バースの21バースであり、最大水深は14mで木材チップ用の荷役機械を備えている。

2. 石狩湾新港港湾施設

石狩湾新港の港湾施設の現況について調査を行った。

・石狩湾新港の現況

平成24年の取扱貨物量は403万トンであり、石油類134万トン、木材チップな

近年における特徴的な事項としては、北ガス株が、海外からLNGを輸入することを目的とした「石狩LNG基地」を建設し、平成24年5月から供用を開始した。また、不定期ではあるが、RORO船によるロシア・サハリンへの建設機械等の輸出やケーソンの製作、パイプラインの一部組み立て、積み出しの実績がある。

裏表紙は…
「議会からのお知らせ」など

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成26年第1回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会◇

- ①学校給食費負担金の改定について
- ②未利用公共施設の現状と今後の対応について

◇産業常任委員会◇

- ①増養殖事業の現状と課題について

◇議会運営委員会◇

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長との諮問に関する事項について

「議会は公開が原則」

町民みなさんの生活に身近なことについて審議する場が「議会」です。
傍聴に関することは議会事務局

TEL 01558-2-0180

までお問い合わせください。



定例会は年4回

「3月・6月・9月・12月」開催

議会改革 議会会議録の公開が始まる！

広尾町議会では、本会議と予算審査特別委員会の会議録を平成25年3月開催の第1回定例会から順次公開。どうぞご覧ください。



広尾町の
ホームページから
このボタンをクリック！



今回の広報は12月定例会での補正予算、4人の一般質問、24年度決算の質疑の内容を中心として掲載しています。
町民みなさまには議会を傍聴していただき、貴重なご意見をいただければ幸いです。
議会広報特別委員会
委員長 田中 巧

今年度の広報は12月定例会での補正予算、4人の一般質問、24年度決算の質疑の内容を中心として掲載しています。
町民みなさまには議会を傍聴していただき、貴重なご意見をいただければ幸いです。
議会広報特別委員会
委員長 田中 巧

議会活動日誌

平成25年12月～平成26年2月

【12月】

- 3日 第6回議会運営委員会
- 6日 第4回町議会定例会（～11日）
- 11日 第7回議員協議会
- 17日 南十勝消防事務組合議会定例会
- 21日 方川本別町議会議長の「十勝百年農場」表彰受賞を祝う会（帯広市）
- 26日 広尾町消防団歳末特別警戒
- 27日 矢野征男さんの北海道功労賞受賞を祝う会（帯広市）

【1月】

- 3日 はたちのつどい
- 4日 広尾町消防団「新年出初め式」
- 6日 漁業協同組合初競り
町主催新年交礼会
- 11日 船霊祭
- 17日 市町村行政懇談会及び新年交礼会（帯広市）
- 19日 アイスストッカーひろお大会
池本柳次道議新年交礼会（音更町）
- 21日 議員行政視察調査「消防広域化」（富良野市）
- 24日 交通安全祈願祭
- 26日 喜多龍一道議新年交礼会
第4普通科連隊第2中隊と2町（広尾町・大樹町）新年懇談会
- 28日 第1回総務常任委員会
広尾町商工会永年勤続優良従業員表彰式典

【2月】

- 1日 長崎県西海市小学生親善交流団来町歓迎式
- 8日 大谷とおる道議新春の集い（幕別町）
- 13日 議会広報特別委員会
- 14日 第1回産業常任委員会
- 18日 南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）
- 21日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 27日 十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
十勝環境複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 28日 第1回議会運営委員会

編集後記

春夏秋冬。一年は春から始まります。この季節は会計年度替わりの時期でもあり、人事異動や卒業・入学・入社式など、その過程にある方は、感傷に浸る間もなく、慌ただしい日々を送ることになります。
4月から消費税が8%になりますが、国は「好循環実現のための経済対策」として、5・5兆円の補正予算を組みました。広尾町の隅々まで「好循環」となるよう期待します。
安倍首相が靖国神社に参拝しました。中国、韓国が猛反発していますが、絡まった糸をほぐすのは容易ではありません。丁寧な説明を続けることが必要です。